



高槻ロータリークラブ
2023~2024
WEEKLY BULLETIN

四つのテスト

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるかどうか

事務所 〒569-1116 高槻市白梅町 4-1 高槻阪急スクエア 6階
TEL 072-683-1158 FAX 072-683-1174
URL <http://www.takatsukirc.org/>
E-mail takatsuki.rc@bird.ocn.ne.jp

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30
例会場 高槻阪急スクエア 6階多目的ホール TEL 072-684-5379

創立 1954年6月15日

会長 河合一人 幹事 松下浩章 クラブ運営委員長 内本繁 会報担当副委員長 小阪大輔

No.39 2024年5月22日 発行

5月は青少年奉仕月間

第3362回 本日(5/22)の例会

- ◎ ソング・・・それでこそロータリー
- ◎ 卓話 藤松 功治君
「マイカーの故障修理とメンテナンス」
- ◎ 例会後の行事
創立70周年記念誌掲載写真撮影
第5回中長期クラブ戦略委員会

第3363回 次週(5/29)の例会

- ◎ ソング・・・それでこそロータリー
- ◎ 卓話 清水 利男君
「貝原益軒の養生訓」
「ある老人の独り言」

先週(5/15)の例会から

◎ゲスト

計2名

- 政やエンタープライズ株式会社 政本 憲一様
- 政やエンタープライズ株式会社 山田 純子様

◎出席報告

会員数	出席者数	出席率
44名	35名	81.40%
前々回例会補正後出席率 90.48%		
但し、Mup 5名 欠席者 4名		
出席規定適用免除有資格者 2名		

4月度皆出席表彰

山口 誠君 通算 26年
内本 繁君 通算 11年

◎会長の時間

- ① 新しい事を中々覚える事が出来ない
- ② 読んだり聞いたりした事が余りよく理解できない
- ③ A又はBのどちらが良いのか判断できない
- ④ 知っていた事を思い出せない

最近、30代~50代の働き盛りの人で、上記のような認知症を疑う症状を訴えるケースが増えているようです。最も、脳の画像診断や脳波検査、認知機能の障害検査を行うと認知症は認められない場合が殆どだと言います。一体・何故、そのような症状が起きてるのでしょうか？

その大きな要因の一つとして考えられるのが、過剰な情報収集による「脳のオーバーフロー状態」です。本来、脳のキャパシティ（入力情報量とその処理能力）には限界がありますが、インターネットが普及し、何時でもあらゆる情報が豊富に収集できる今日では、その処理容量を超える事が起こり得ます。その場合、脳の情報処理量が過密状態となり、機能不全をきたす事にもなり兼ねません。その結果、脳の機能が低下する事で、記憶力や判断力、理解力に支障をきたすと考えられています。特に近年では、パソコン、インターネット、タブレット、そしてスマートフォン等のコミュニケーションツールに於いて、年々・情報量が増加しており「情報過多」にさらされているのが現状です。実は、50年以上前、この事を予測した未来学者が存在していました。

世界に希望を生み出そう

ゴードンR. マッキナリー RI会長

「情報オーバーロード」と言うものがあります。これは、多すぎる情報によって必要な情報が埋もれてしまい、課題を解決したり、意思決定する事が困難になる状態を指します。この言葉は、1964年、パートラム・グロスによって初めて世に出た言葉ですが、その後、1970年、アルビン・トフラーのベストセラー「未来の衝撃」によって、一般的に知られる様になっています。情報オーバーロードは、システムへの入力情報の全量がシステムの処理能力を超えている時に起こります。意思決定者は、有限の認知能力しか持っていない為、この状態になると、与えられた情報の全量が解釈できなくなり、思考が混乱し、意思決定の質の低下が発生するとされています。

グローバル化と言った新しい時代が到来し、インターネットで独自の研究を公表する人が増えています。ウェブサイトの増加と共にデータを消費するだけでなく生産する様になり、ユーザーの多くは自ら情報を生み出し情報化時代に適応しています。また、より多くの人々が単に閲覧するだけでなく書き込む事で参加する様になって来ています。この様な流れの中で、我々は新たな生活スタイルを築いていますが、そういった情報アクセスに依存する事の危険性にも注意が必要です。

◎幹事報告

- ・ガバナー事務所より「2024年4月台湾東部地震支援金について」連絡が届いております。4/3に台湾東部で発生した地震の支援金への協力はクラブの判断に任せるとの事ですが、5月度定例理事会にて当クラブは趣旨に賛同し10万円を支援する事に決定致しました。先にクラブから10万円を送金致しますが、会員の皆様からお一人2,000円のご寄付をお願いし、集まった額を差し引いた金額をクラブから拠出致します。回覧を回しますので、皆様ご協力宜しくお願い致します。

◎委員会報告

○国際奉仕委員会

長井 正樹

- ・今年度ロータリー財団年次基金への寄付の目標額は、1人あたり150ドルとしております。円安が続いている事もあり、現在日本円で目標額まで約30万円足りていません。目標額の達成の為に、皆様ご協力をお願い致します。回覧を回しますので、出来れば5,000円以上の寄付をお願い致します。



◎5/15 卓上花

カスミソウ……………幸福
スプレーカーネーション
……………素朴

◎卓話 「 和太鼓で地域社会を元気に 」

政やエンタープライズ株式会社 政本 憲一様



【「和太鼓政や」の活動と昨今の和太鼓事情】

- ・大阪府高槻市出身であり、政やエンタープライズ(株)和太鼓政や代表として舞台、公演、コンサート活動などを中心に行っている。
- ・幼少期からサッカー選手を志しており、20代半ば社会人となってから和太鼓と出会い、その後一念発起し神戸の和太鼓プロ集団へ弟子入り→10年の後2016年に地元高槻市大蔵司に「和太鼓政や」を設立。
- ・プロアマ合わせ日本全国に2万を超える団体があるなか、和太鼓+世界の民族音楽(アンデス民族やマリンバなど)を組み合わせた独自の音楽スタイルでオリジナリティを活かした舞台を展開している。

【和太鼓楽器紹介&魅力】

- ・「不動 fudou」は長胴と呼ばれる種の和太鼓で、樹齢500年ともいわれる一本の大木をくり抜き牛の革(表裏一枚ずつ2頭の牛の革を使用している)
※太鼓単体で300kg 台座を合わせた総重量は400kgを超え、くり抜きの長胴太鼓としては大阪最大級とされている。
- ・打面の直径3尺(約1メートル)の長胴太鼓で、そのエネルギーは直線距離で5キロメートル先にも音を届ける事ができ、大きな掛け声と体全身を使い長く太いバチで打ち鳴らす奏法は日本独自のスタイルとされ、世界に誇る日本の伝統文化である。
- ・2011年東日本大震災、2016年熊本地震、2018年大阪北部地震、北海道胆振東部地震などへも激励演奏に赴き、被災者の皆様の前で演奏させていただきエネルギーを受取っていただいた事を実感し、和太鼓という楽器の無限の可能性を改めて感じました。

【和太鼓の力が地域社会に与える影響と効果】

- ① 子どもからお年寄りまで年齢や経験に関係なく、皆が取り組みやすい。
※3歳~80代を超える年配者まで、高槻教室では現在およそ100名が在籍
 - ② 音や息を合わせるなど、チームワークを必要とするため周囲との協調性が生まれやすい。
 - ③ 自身のペースで行える全身運動ということで、ストレス発散や運動不足解消などに向いている。
 - ④ 耳で聞くというより、全身で感じる和太鼓の波動は観衆の心を揺さぶりエネルギーを与える。
- 上記の事などから、和太鼓の力で地域に結束と協調性が生まれ、活力が沸き皆の元気に繋がる。

【政やの太鼓祭 2024 告知】

- ・公演経緯と予告 VTR 投影



◎ニコニコ箱報告

- ・この度設計に携わってました野見神社のカフェが竣工いたしました。施工は小阪工務店さんです。皆様ぜひお立ち寄り下さい。 **堀部君**
- ・政本様、山田様、本日はお忙しい中ありがとうございました。 **河合君**
- ・政本憲一様、本日はありがとうございましたご座居ました。 **西田君**
- ・5月13日に初孫が誕生しました！元気な男の子です。お祭りも一緒にできるのが楽しみです！ **浦中君**

本日の合計	¥	20,000-
7/1 よりの累計	¥	1,600,000-

◎R 財団への寄付 (恒久)

本日の合計	¥	0-
7/1 よりの累計	¥	305,000-
一人当たり平均		\$ 45.73

◎R 財団への寄付 (年次)

河合 一人君 ¥ 5,000-

本日の合計	¥	5,000-
7/1 よりの累計	¥	790,000-
一人当たり平均		\$ 118.44

◎R 財団への寄付 (ポリオ)

浦中 郁文君 ¥ 5,000-

本日の合計	¥	5,000-
7/1 よりの累計	¥	339,000-
一人当たり平均		\$ 50.82

◎米山奨学会への寄付

西田 直弘君 ¥ 5,000-

本日の合計	¥	5,000-
7/1 よりの累計	¥	445,000-
〔 会員より	¥	220,000-
〔 クラブより	¥	225,000-
一人当たり平均	¥	9.674-

◎青少年育成基金への寄付

本日の合計	¥	0-
7/1 よりの累計	¥	65,000-